

## 住宅の断熱についてのアンケート調査結果

埼玉県地球温暖化防止活動推進センター

### 【調査の概要】

家庭における住宅の断熱性能や高気密性能の取組について意識及び実態を調査した。本調査にあたっては環境省「地域における地球温暖化対策促進事業」補助金を活用した。

### 【調査の目的】

家庭における住宅の断熱性能は、温熱環境に大きく関係している。そのため住宅の断熱状況を調査することで、二酸化炭素の排出傾向を把握することとした。

### 【調査対象】

埼玉県在住の市民（n = 257名）県外在住者のデータは除いた

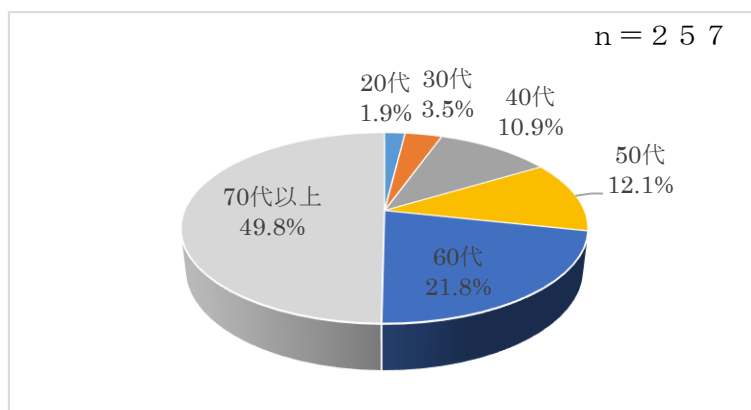
### 【調査期間】

令和元年12月6日（金）～令和2年1月14日（火）

### 【調査実施者の確保】

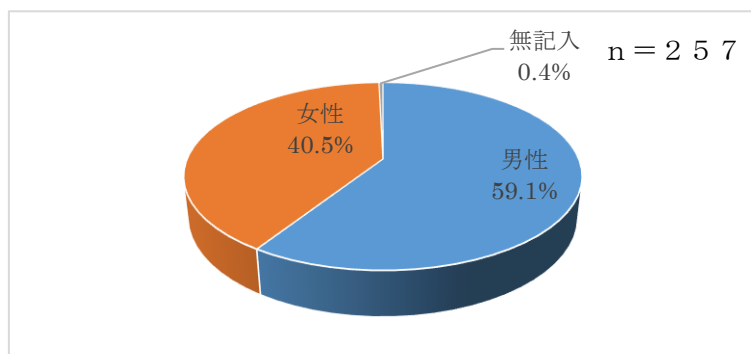
埼玉県地球温暖化防止活動推進員による地域住民への調査依頼、SDGsエコフォーラムなどのイベント等での協力依頼を行った。

### 【属性】年代



20代	5
30代	9
40代	28
50代	31
60代	56
70代以上	128

### 【属性】性別

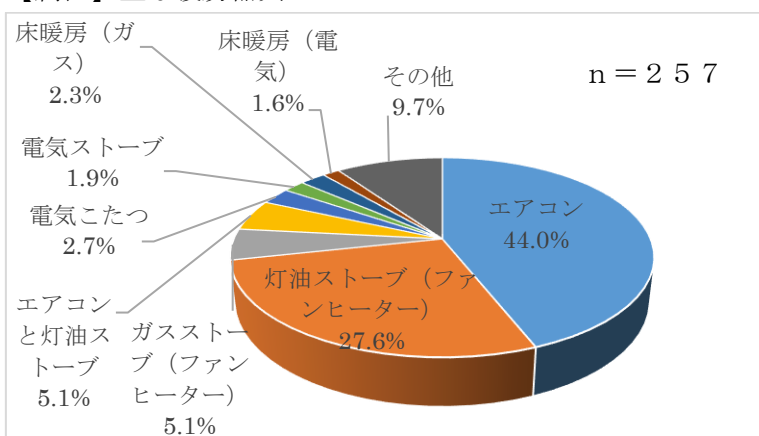


男性	152
女性	104
無記入	1

【属性】 居住している市町村

33	さいたま市	8	上尾市	4	伊奈町	1	桶川市
17	川越市	8	越谷市	4	毛呂山町	1	春日部市
16	新座市	8	飯能市	4	吉川市	1	児玉町
15	狭山市	7	朝霞市	4	和光市	1	草加市
15	所沢市	7	久喜市	3	行田市	1	戸田市
13	深谷市	5	幸手市	2	小川町	1	羽生市
13	本庄市	5	杉戸町	2	川島町	1	宮代町
11	川口市	5	秩父市	2	白岡市	1	三芳町
9	熊谷市	5	ふじみ野市	2	鶴ヶ島市	1	寄居町
9	鴻巣市	5	三郷市	1	小鹿野町		

【属性】 主な暖房器具



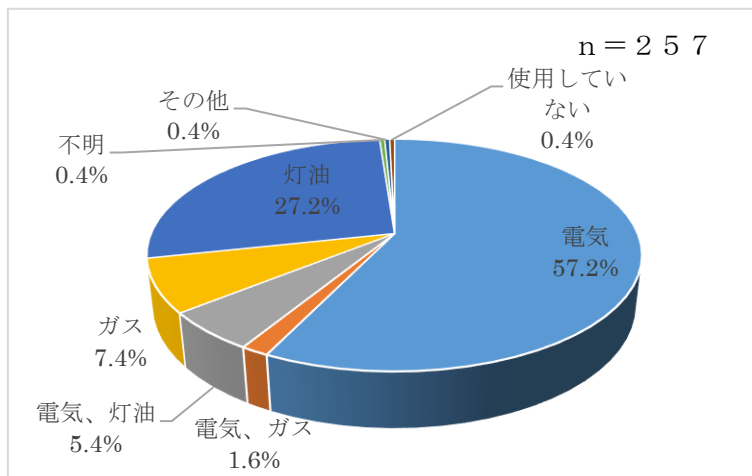
エアコン	113
灯油ストーブ (ファンヒーター)	71
ガスストーブ (ファンヒーター)	13
エアコンと灯油ストーブ	13
電気こたつ	7
電気ストーブ	5
床暖房 (ガス)	6
床暖房 (電気)	4
その他	25

その他回答

2名	
エアコン、電気ストーブ	エアコン、電気こたつ
エアコン、ガスストーブ	エアコン、床暖房
電気カーペット	エアコン、床暖房 (電気)

1名		
エアコン、電気ストーブ、灯油ストーブ	ハイパワーPC	パネルヒーター
エアコン、電気ストーブ、ガスストーブ、床暖房 (電気)	エアコン、ガスストーブ、床暖房 (ガス)	オイルヒーター
エアコン、電気ストーブ、ホットカーペット	エアコン、ホットカーペット	湯たんぽ
電気ストーブ、オイルヒーター	セントラルヒーティング	蓄熱暖房機
使用していない		

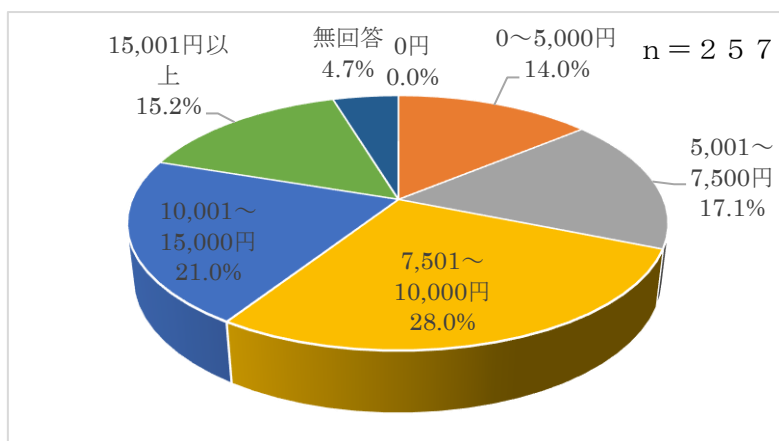
【属性】 主な暖房のエネルギー源



電気	147
電気、ガス	4
電気、灯油	14
ガス	19
灯油	70
不明	1
その他	1
使用していない	1

【属性】 夏の1ヵ月のおおよその平均電気代

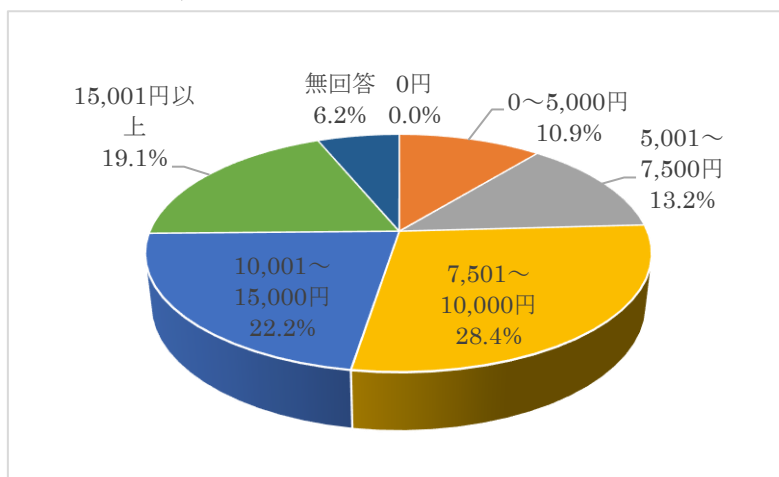
全体平均：10,804円



0円	0
～5000円以下	36
5001～7500円	44
7501円～10000円	72
10001円～15000円	54
15001円以上	39
無回答	12

【属性】 冬の1ヵ月のおおよその平均電気代

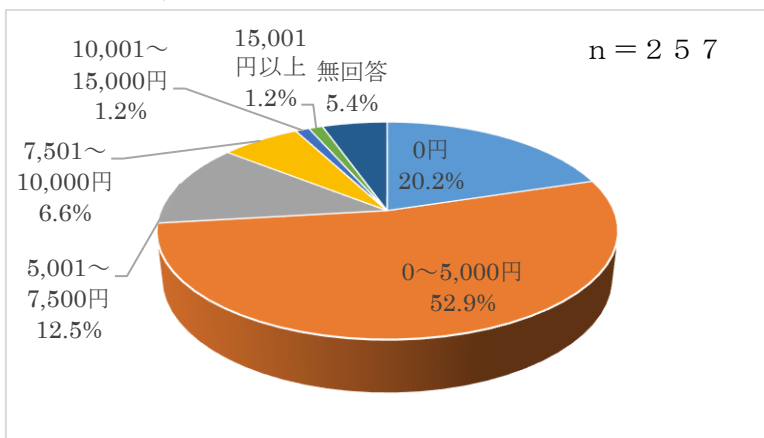
全体平均：12,002円



0円	0
～5000円以下	28
5001～7500円	34
7501円～10000円	73
10001円～15000円	57
15001円以上	49
無回答	16

【属性】夏の1ヵ月のおおよその平均ガス代

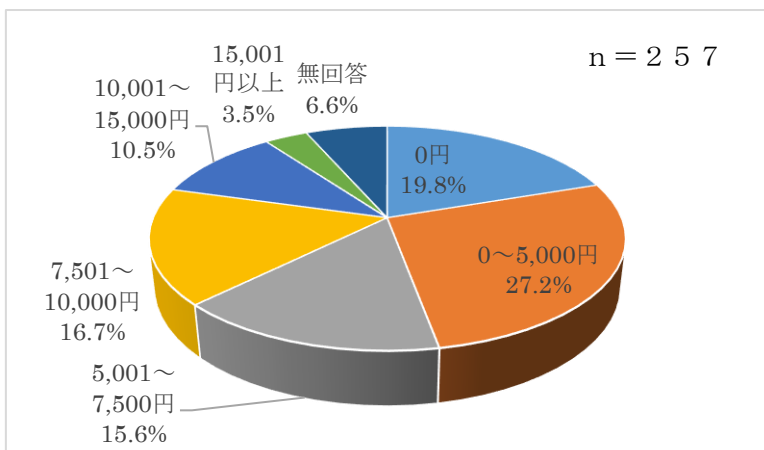
全体平均：3,798円



0円	52
~5000円以下	136
5001~7500円	32
7501円~10000円	17
10001円~15000円	3
15001円以上	3
無回答	14

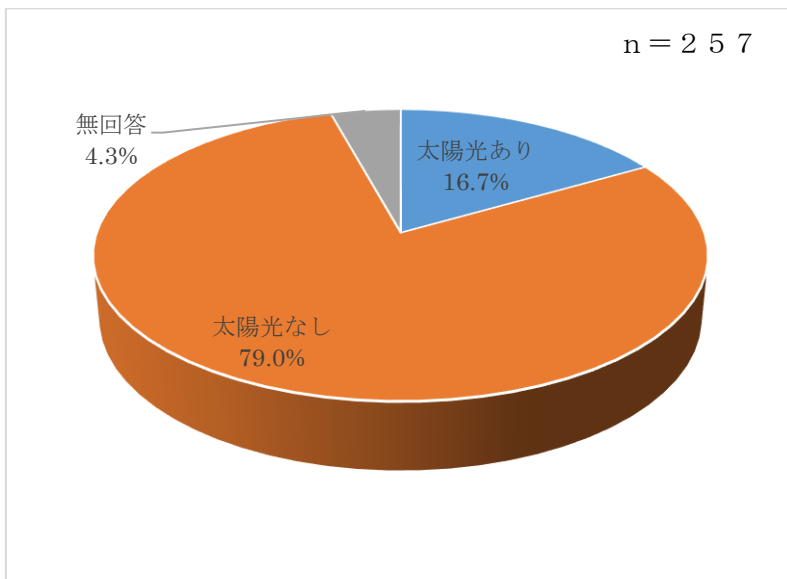
【属性】冬の1ヵ月のおおよその平均ガス代

全体平均：6,106円



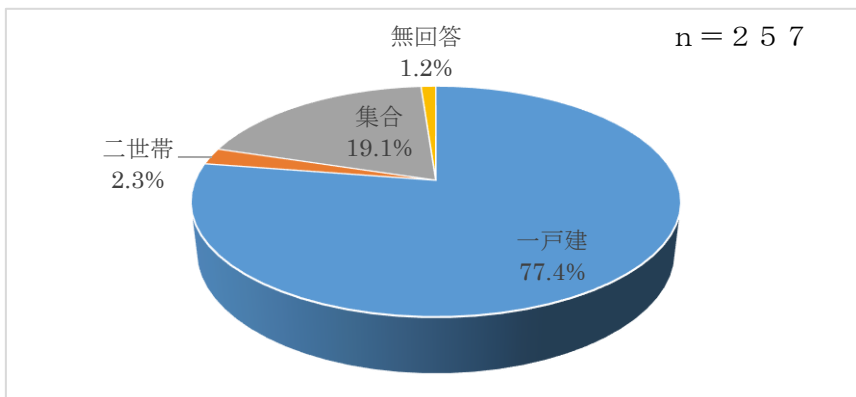
0円	51
~5000円以下	70
5001~7500円	40
7501円~10000円	43
10001円~15000円	27
15001円以上	9
無回答	17

【属性】太陽光発電の有無



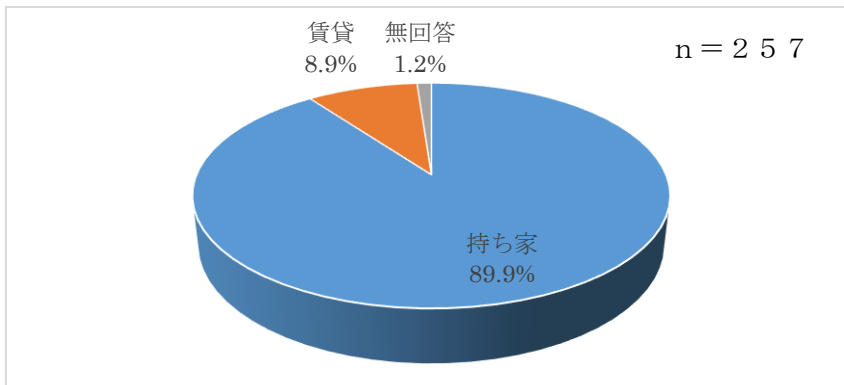
太陽光あり	43
太陽光なし	203
無回答	11

【属性】 住宅のタイプ



一戸建	199
二世帯	6
集合	49
無回答	3

【属性】 住宅の所有状況

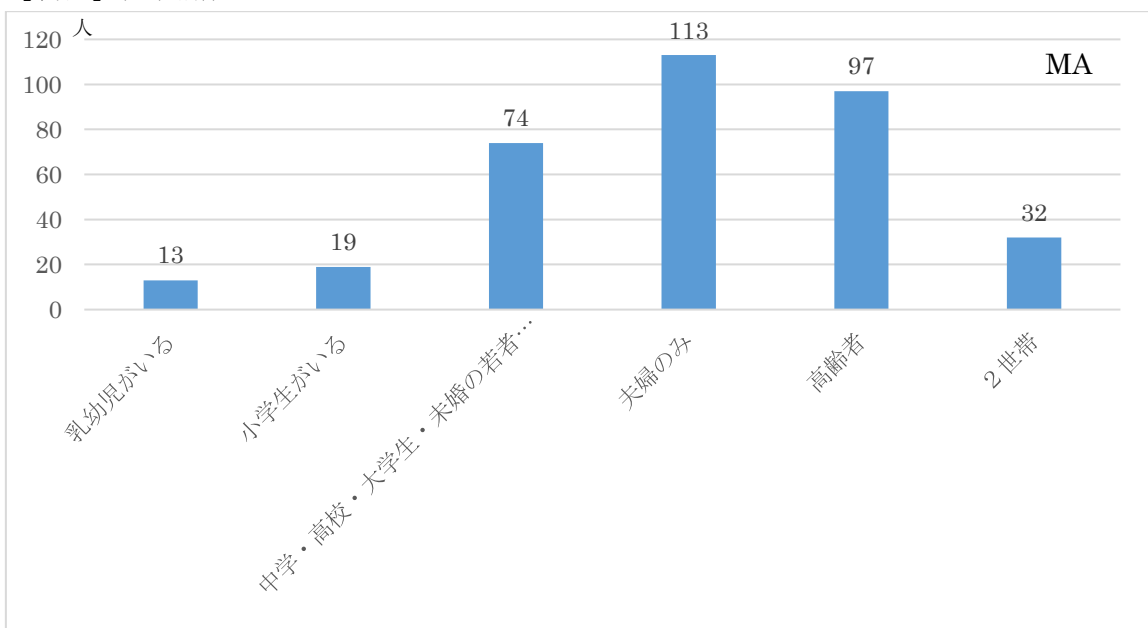


持ち家	231
賃貸	23
無回答	3

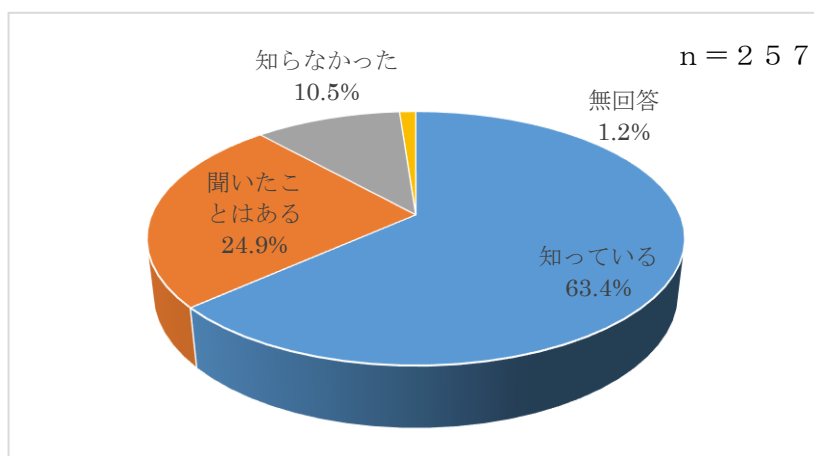
【属性】 建築時期 全体平均：1992年

【属性】 延べ床面積 全体平均：122 m<sup>2</sup>

【属性】 世帯構成

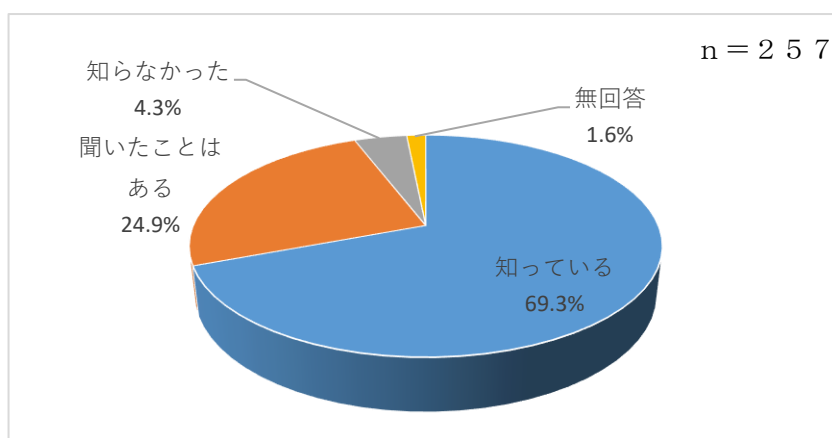


問2 建築物の断熱性能や機密性が高いと、年間をとおして快適な室温が保ちやすく、有病率が改善されることを知っていましたか？



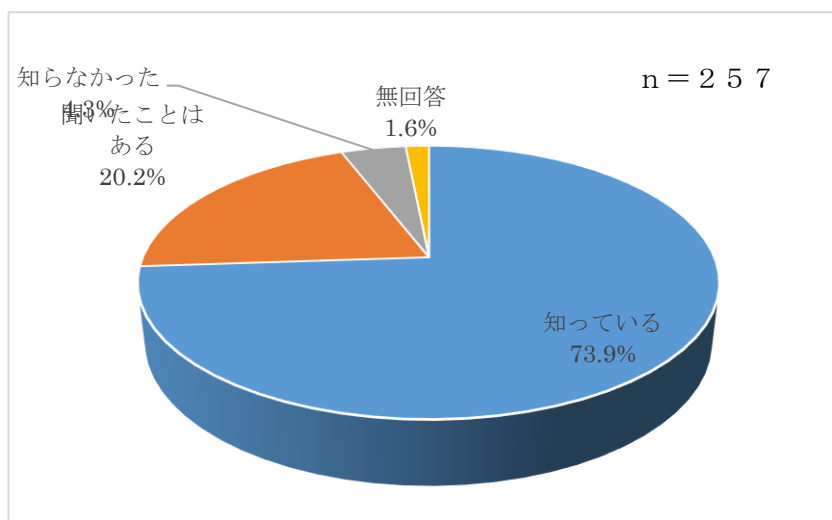
知っている	163
聞いたことはある	64
知らなかった	27
無回答	3

問3 高断熱・高气密住宅は冷暖房効果が高いため、光熱費や地球温暖化の原因となる二酸化炭素が削減されることを知っていましたか？



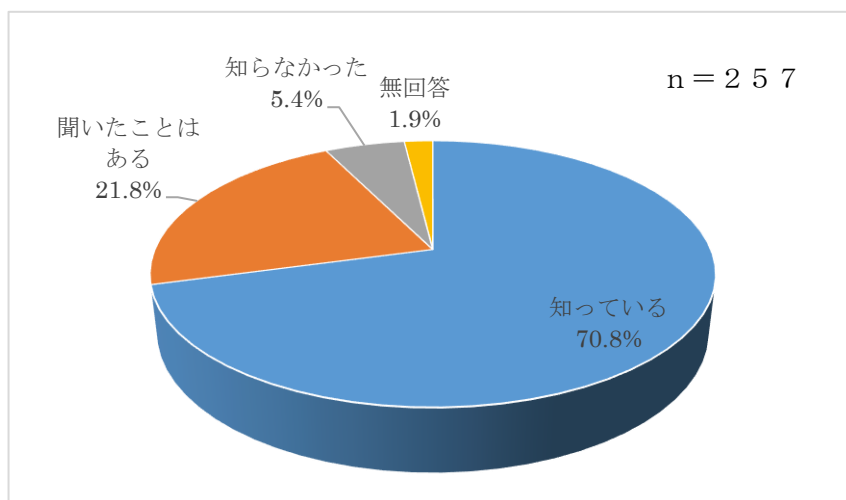
知っている	178
聞いたことはある	64
知らなかった	11
無回答	4

問4 冬にヒートショックが起こる原因は、部屋の温度差だと知っていましたか？



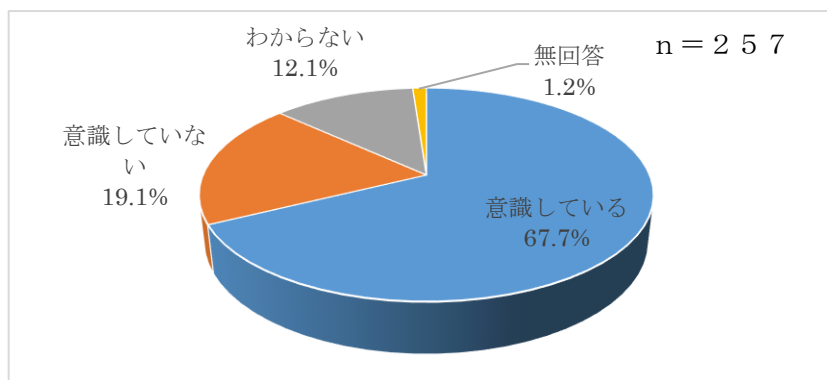
知っている	190
聞いたことはある	52
知らなかった	11
無回答	4

問5 ヒートショックや熱中症は、65歳以上、屋内で罹る傾向が高いことを知っていましたか？



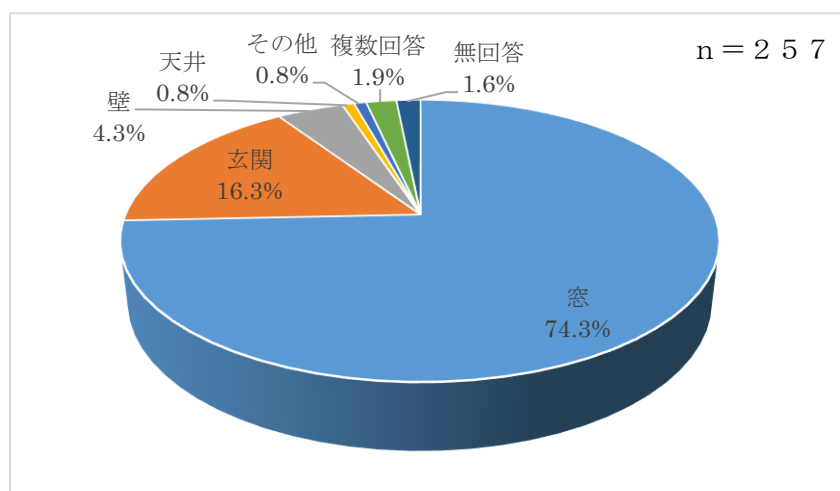
知っている	182
聞いたことはある	56
知らなかった	11
無回答	4

問6 あなたのお住まいは断熱性能や気密性能を意識していますか。



意識している	174
意識していない	49
わからない	31
無回答	3

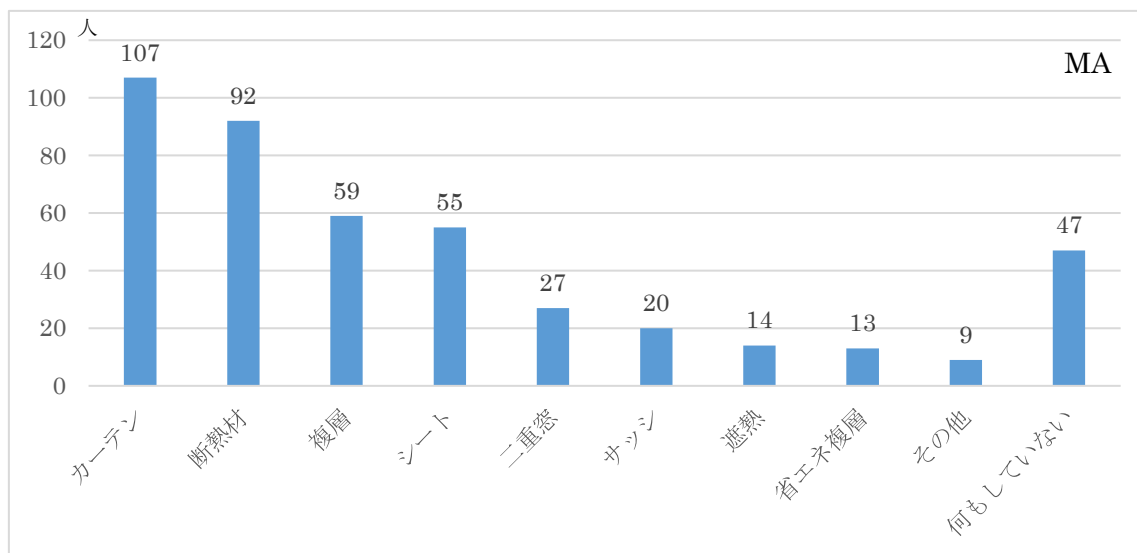
問7 建物で熱の出入りが一番大きいのはどこだと思いますか？（一つだけ選択）



窓	191
玄関	42
壁	11
天井	2
その他	2
無回答	4
複数回答(窓と玄関)	3
複数回答(窓と壁)	1
複数回答(窓と床下)	1

問8 あなたのお住まいはどのような断熱の取組をしていますか？（複数回答可）

- 窓を複層ガラス    窓を省エネ型複層ガラス    二重まど（うち窓）の設置  
サッシを樹脂製や木製    遮熱・断熱塗料を塗っている  
壁や天井に断熱材を入れて断熱性能を高めている  
自分で窓に断熱シートやフィルムを貼っている    遮熱・遮光カーテンを利用  
何もしていない    その他



その他の取組の回答

- ・床マット    ・雨戸を断熱性としてエネルギーの収支を考えて使う    ・DIY
- ・夏の昼間は窓開放    ・緑のカーテンを育てている    ・遮熱をさげ太陽熱をとり入れる
- ・断熱スクリーン（ハニカム）を全窓に付けている
- ・出窓のすき間にテープを貼り外気を遮断（常時閉める）
- ・西陽が当たらない東南向きの建物である    ・家の内と外の温度をチェックして対応する

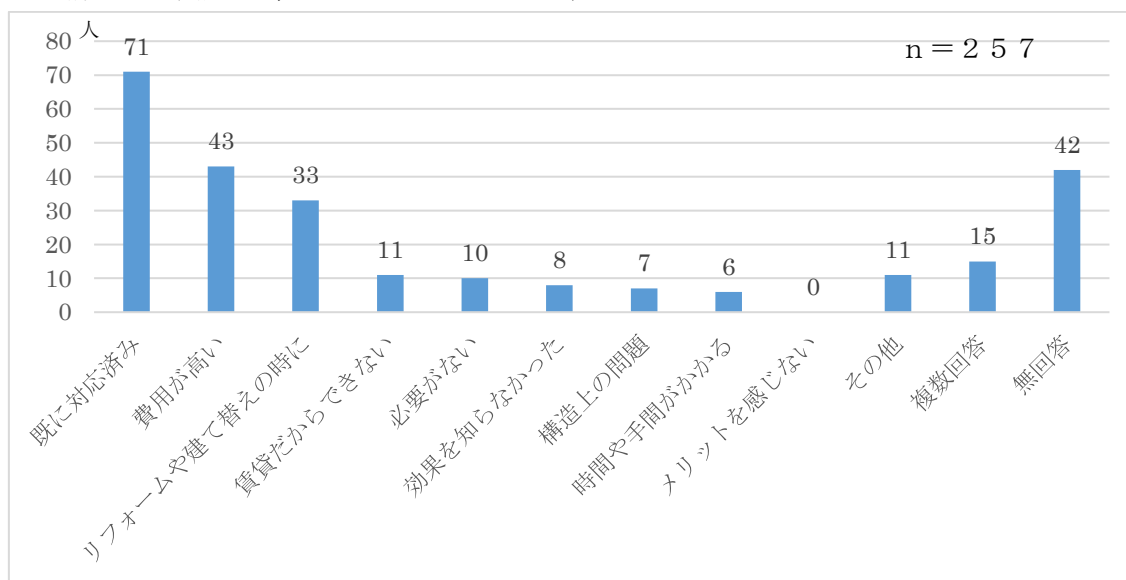
何もしていない理由（○数字は同様の回答）

- ・マンション（集合住宅・社宅）のため⑦
- ・費用がかかる⑤
- ・必要に迫られない②
- ・古い建物の為②
- ・無駄だから    ・買った時のままなので分からない    ・忙しいので
- ・リフォーム考え中    ・建売住宅だったから    ・マンション自体の気密性がよい
- ・日当たりがよく冬は暖かく庭木で夏は涼しく過ごしているから    ・断熱の家である
- ・リフォームの機会がない    ・自分で工夫してシートを使ってことはあるが効果ないので
- ・50年もたっているので建て替えの時にと考えている、近年中に改装を計画している



問9 建物の断熱をしない理由をお聞きします？（一つだけ選択）

- すでに対応済み       必要が無い       効果を知らなかった  
 費用が高い       時間や手間がかかる（面倒）       メリットを感じない  
 賃貸だからできない       リフォームや建て替えの時にしようと思っている  
 構造上の問題で導入できない       その他



その他回答

- ・新築予定に入っている
- ・冬の太陽エネルギーをとり入れることを優先する
- ・廃棄時の環境への影響が気になる
- ・余り考えなかった
- ・引越したばかりで理解していない
- ・ムダな断熱をしない
- ・建築当時の仕様になっているが現仕様にするには困難
- ・メーカーを信用していた

【アンケート全体の集計結果の短評】

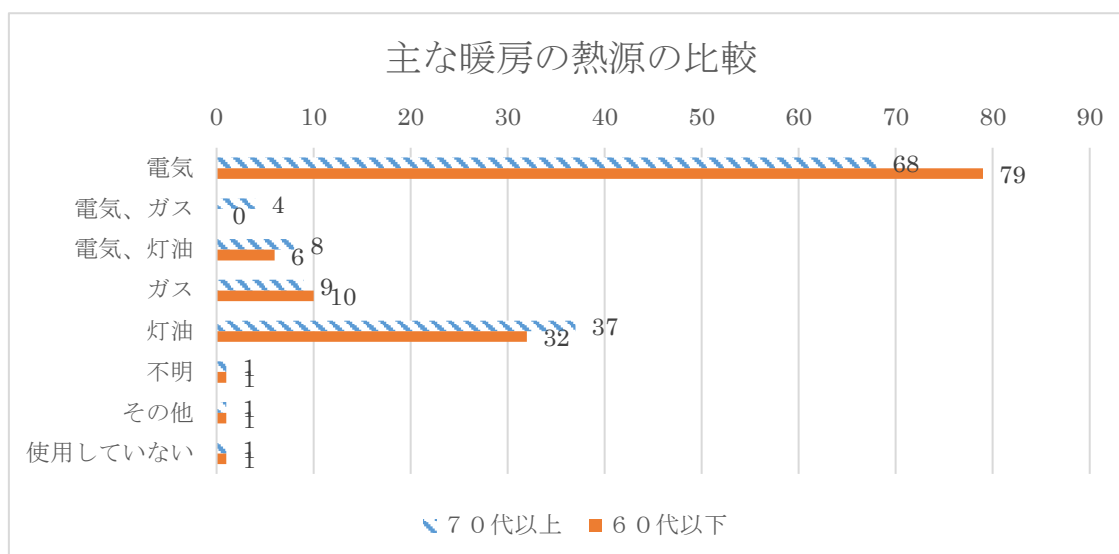
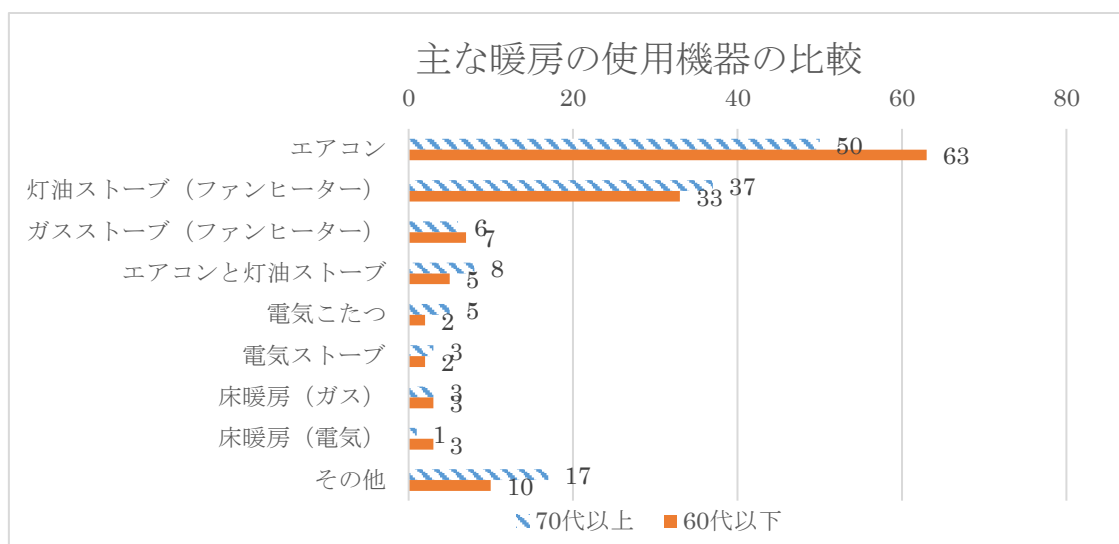
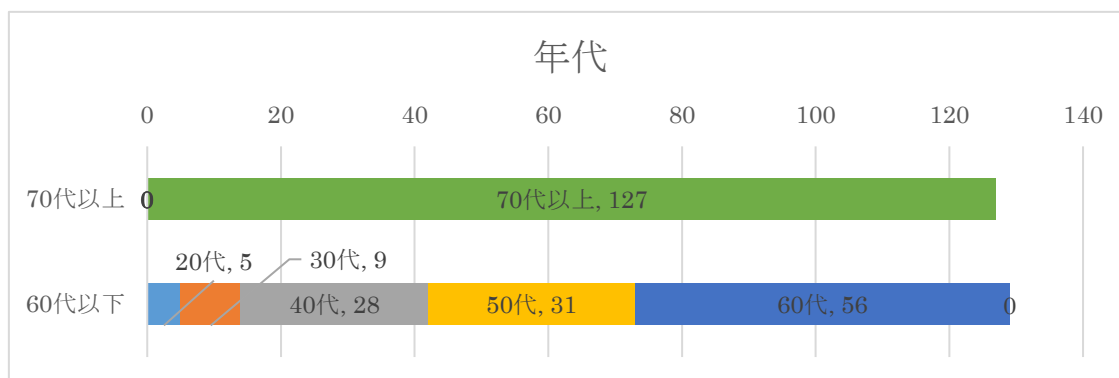
今回のアンケートでは、埼玉県内在住の257名から回答が得られた。

回答の結果から断熱性能や気密性能を意識しているのは67.7%であることがわかった。逆に、意識していないのは19.1%、わからないのは12.1%、無回答1.2%であった。

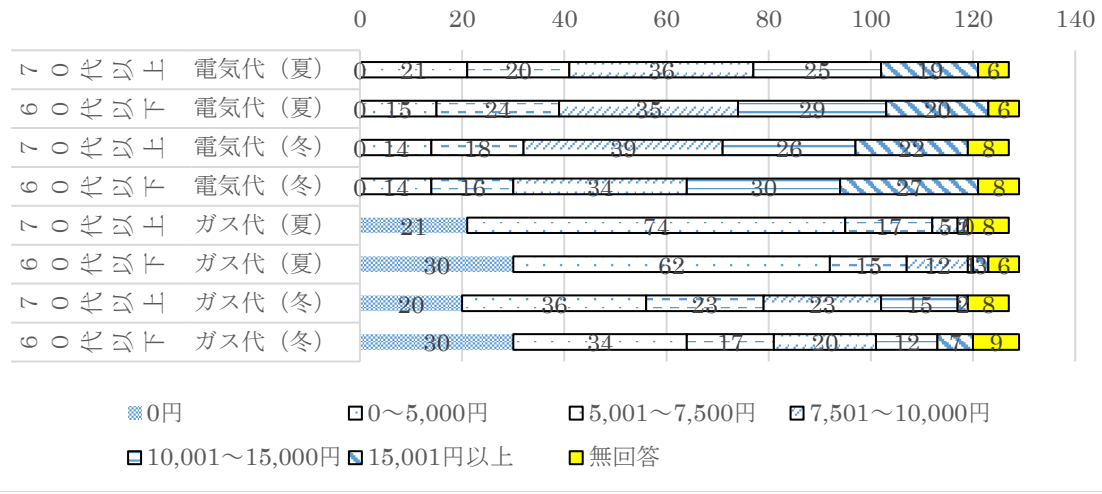
また、主な暖房器具はエアコン44.0%が最も多く、次いで、灯油ストーブ・ファンヒーター27.6%、ガスストーブ・ファンヒーター5.1%、エアコンと灯油ストーブ5.1%が多くなっている。

回答者の年齢層の約半分（49.8%）が70代以上であり、意識や行動に違いがあるかを調べるため、70代以上と60代以下で結果の比較を行う。

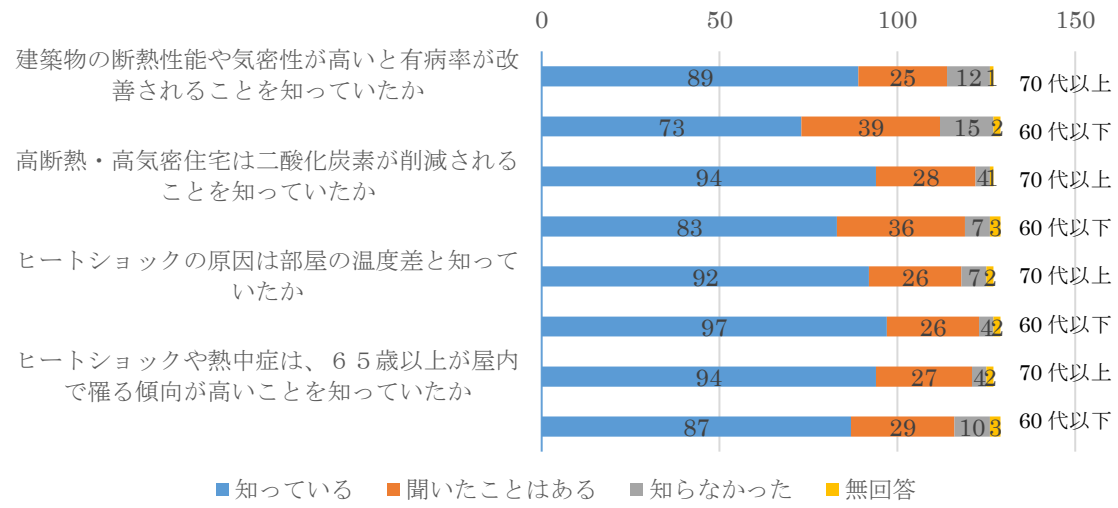
○70代以上（n=127）と60代以下（n=129）との比較



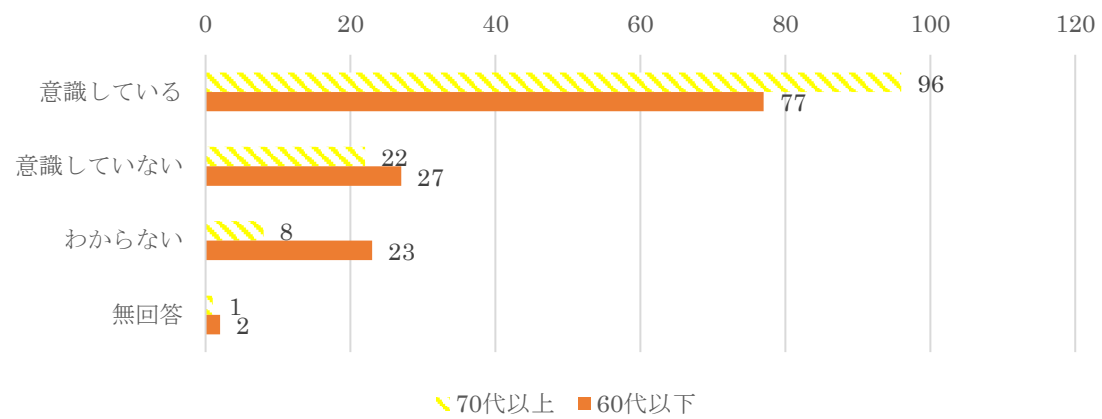
### 電気代・ガス代（夏・冬）の比較

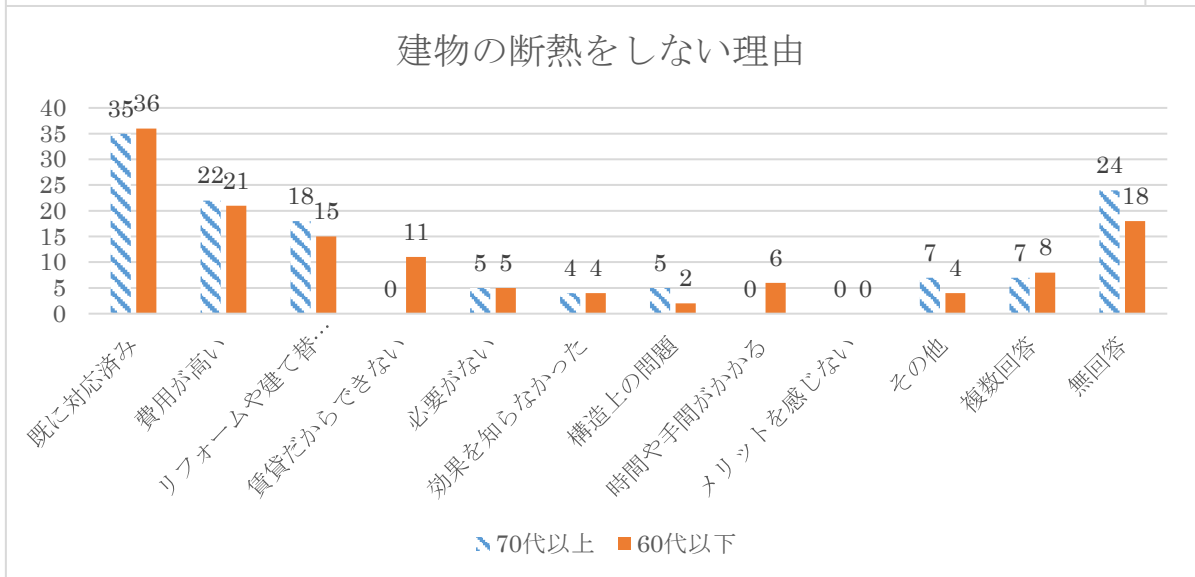
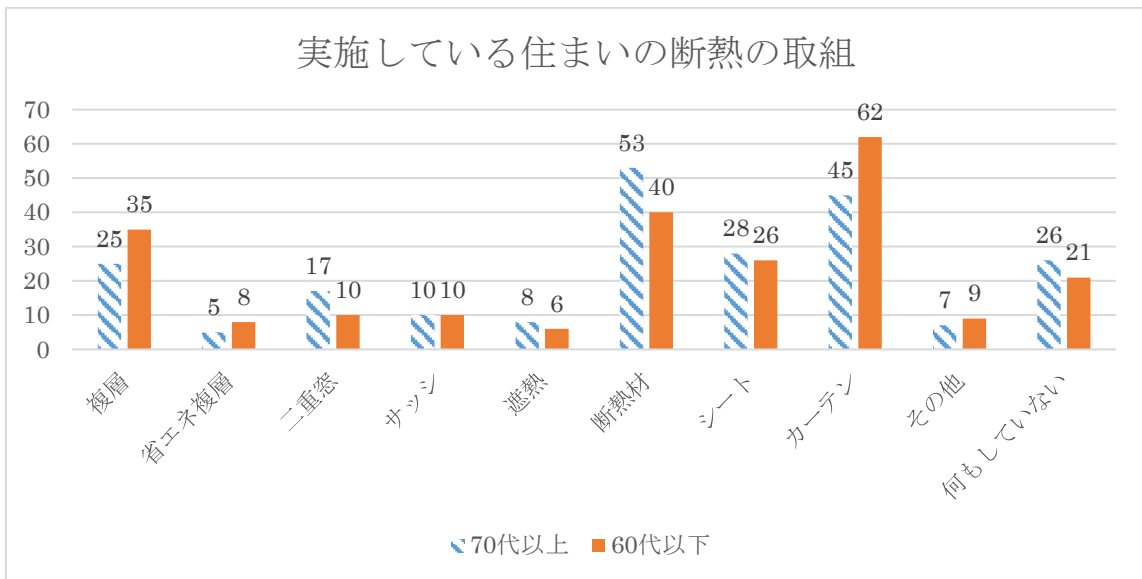


### 断熱に関する知識の度合い



### 断熱性能や気密性能を意識しているか





#### 【70代以上と60代以下の集計結果の比較の短評】

70代以上と60代以下で結果の比較を行った。

比較的違いがあったのが、使用している暖房器具についての回答で、70代以上はエアコンの使用が39%なのに対し、60代以下は49%となっている。逆に灯油の使用は70代以上の方が多くなっており、エアコンとの併用も含めると70代以上が35%、60代以下が29%となっている。

また、断熱性能や気密性能に対する意識があると回答があった人数も70代以上(76%)の方が60代以下(60%)よりも高くなっている。実施している断熱の取組は、70代以上は断熱材の導入が最も多く(53名)、60代以下は遮熱カーテン導入が最も多くなっている(62名)